

・全体として、まずスペインはやはり欧州の大国という印象を受けました。今はEUの中でスペインは経済が不調で元気がないのかと思っていましたが、日本との関係では、日・ス友好400周年を取り上げて、それも9ヶ月に亘り大々的に全国で記念行事を行なうという、文化担当官の話にも日本への友好親善の思いがひたひたと感じられました。総領事はじめ大使館の皆様も、記念行事のオープニングに含ませでの首相来日を間近にひかえて忙しいなか、ニコニコと対応していただき、嬉しく思いました。そして文化担当官の話の中で、支倉の慶長訪欧団とは、日本の外国への公式訪問としては最後で、それ以後（明治維新まで）なかったという視点に新鮮な驚きを感じました。それまでは日本はごく一部の国との僅かな通商関係はあったとしても、鎖国、鎖国だと日本からしか見ていなかったのですが、西欧から見るとその間、日本の歴史は空白になっていたのですね。この支倉常長は、遠藤周作の「侍」という小説に詳しく書かれており、当時の状況がよく分かります。今回の催しは、大使館側の気持よいおもてなしと、おいしいワイン・料理で、楽しく過ごすことができました。なんとかメンバーに加えていただき有難うございました。 中野暢夫

・昨日は幸運にもスペイン大使館へ。文化担当参事官氏による講演でスペインについてお勉強。遣欧使節の支倉常長らがスペインに派遣されて400年目にあたる今年、来年は「日本スペイン交流400周年」事業が次々と開催されており、コンサート、絵画展が東北を中心にあるとのこと。ぜひ行ってみたい…。続いて鑑賞のスペイン紹介ビデオでは夢のような映像が繰り広げられました。

そしてお待ちかねのWine&Dineタイム。昼間からワイン！今回はスペイン料理店のスタッフがパエリアをサーブ、ワインを注いでくださって。大使館のパーティースペースでは広々と歓談できるようにしつらえてありました。大使館ご歴々の方々も加わり、談笑のひとときでした。今回は参加人数が限られており、ひとり参加でしたが、会話を始めると以前からの知り合いの如く楽しく話が弾み、楽しむことができました。

何より渡辺さまの今回のイベントのご準備、ご配慮に深謝いたします。
山根尚子

・日本スペイン交流400周年記念 Wine & Dine の集いでは、皆様ととても楽しいひと時をご一緒する事が出来ました。この貴重な機会を下さった渡辺様に深く感謝申し上げます。

スペイン大使館は初めての訪問でしたが、まるで閑静な公園の木立に囲まれた近代美術館のようで、1928年（偶然にも母と同じ歳）建築されたアメリカ開拓時代を思わせるレジデンスとのコントラストがとても印象的でした。

今回のプログラムは2時間という限られた時間の中に、スペインの魅力をぎっしりと余すところ無く見せて下さり、中身の濃い集いだったと思います。公務でお忙しいにもかかわらず、温かく歓待下さった、大使館の方々にお礼を申し上げたいと思います。

コンベンションホールでの参事官のお話の中で、使節団派遣の2年前、1611年の慶長三陸地震の話がありましたが、ちょうど2週間前に所属学会の関係で現地三陸～仙台の視察に行ったばかりでしたので、当時の現地の様子に思いを馳せました。400年前の大航海時代、政宗公の命を受け、1万キロの大海原を渡った支倉常長、ルイス・ソテロら使節団から始まった両国の交流、その時の流れの遙か下流に今の私達が立っている事に非常に感慨深いものを覚えました。

このイベントに参加して、コリア・デル・リオを思い出しました。

あの街の川沿いの公園にひっそりと立っている常長に無性に逢いたくなりました。10月の終わりに久しぶりにスペインに行ってみようかと密かに計画中です。

いつも食べる話が真っ先に来る私としたことが、最後になってしまいました。ケータリングサービスの皆様、美味しいパエリアとタパス、細やかなお心遣いを有難うございました。ブッフェでは本場のパエリアをたっぷり堪能させて頂きました。残念ながら、酒が飲めないためにスペインワインは頂けませんでした...

飛行機の時間の関係で、最後までご一緒出来なかったのが唯一の心残りです。最後になりましたが、大使館の皆様、渡辺様に今一度深く感謝申し上げます。

木原康又

・初めまして、堀江と申します。昨日はスペイン大使館でのワイン&ダインの日西交流400周年のパーティーに参加させて頂き、スペイン大使館でみなさんと楽しい時間を過ごすことができました。機会を与えて下さった渡辺さまをはじめとした、皆様に感謝します。また、次の機会にも是非参加させて頂ければと思っております。今後ともよろしく願いいたします。さて、昨日の感想を以下に書かせて頂きます。

今回、スペイン大使館に伺うのは初めてでした。勝手に赤と黄色でイメージしていたのですが、少し迷って見つけたところは、想像と違い白を基調としたとてもシックな建物でした。ビデオを見せて頂いた部屋もとても素晴ら

しく、黒のカッコいい椅子に座り、日本、スペインそして、EUの国旗が並べられた舞台上でビデオを見せて頂きました。コロニアル調の大使公邸といい、どの建物もシンプルなのに、とてもセンスがよく、歴史を大事にしながらも、うまく取り入れ現代に生かしているのを感じました。ビデオの中には、私の大好きなワイン、食事だけでなく、遺跡までありました。古代遺跡があるというのは存じていましたが、近代的なイメージの方が強かったため、あまり意識しておりませんでした。しかし、映像で見るとその巨大さと迫力にびっくり！これは是非行って自分の目で見なくてはと認識を新たにしました。

また、お話の中で、スペインの視点から見た日本との交流も新鮮でした。私たちに親しみのある伊達正宗が日西の交流に関係があったことや、慶長遣欧使節団の話、サン・ファン・パウティスタ号が60日足らずで作られた話、震災との関連などどの一つを取っても非常に興味深く思いました。その中でも、特に、日西交流400周年ということで、福島県立美術館のホセ・マリア・シシリア氏の展覧会に感激しました。交流当時から関連の深い東北を、そして日本を大切にしているのを感じました。お食事とワインはいうまでもなく美味しく、目で味わい、舌で味わい、会話で味わい、とても楽しいひと時を過ごすことができました。私の知っているスペインと、知らないスペインが同居しており、新たな発見もあり、昨日は伺わせて頂いて本当によかったです。最近、9月の国ということで、5歳の娘が保育園で給食にトルティージャとチュロス頂き、スペインについて習ってきました。彼女によると、「とてもとても大きくて素敵なお建物があって、日本人もお手伝いしているんだって。行きたいね」とのことでした。話を聞くとところによると、サクラダファミリアの次のようでした。本当に様々なところに日本とスペインの交流が感じられます。いつか、娘たちとスペインをじっくり旅したいと思います。ありがとうございました。 堀江郁美

・昨日は、スペイン大使館での催しを企画して下さり有難うございました。

まず、400周年のイベントが多方面で行われているのに驚きました。

大使館の方々の洗練された身なり、態度。建物も絵画も、エネルギーありながら、モダンでシンプルな印象。最初に拝見したスペイン紹介のビデオも、古城と緑の平原、カラフルでシャープなデザイン、情熱的に躍動する人々にあふれています。

ご挨拶や紹介で支倉一行の渡西より400年の歴史がスペインの方々に語られた時、いかに日本の事を大切に思って下さるかが感じられ、感慨深く拝聴致しました。

本当に、400年前の震災復興が直接的なきっかけであった事に不思議な因縁を感じます。今日は、頂いた資料やインターネットで、スペイン人宣教師の活動、ロドリゴ一行の家康謁見の事等、あれこれ面白く読み耽りました。

さて、広々として会場での立食パーティーは、移動がしやすいので多くの方と接しやすかったです。又、高めの丸テーブルがいくつか置かれており、着座した場合より間近にお話ができ、お話が弾みました。

もちろん、お食事もお飲み物も最高でした。殆どお代わりさせて頂きましたが、特にジャガイモ入りのオムレット、パエリアは美味しかったです。サングリアは初めて飲みましたが、すっきりした味わいで癖になりそうです。出来れば、ワインやサングリアのビンをそのままテーブルに置いておいて頂いた方が、ブランドがわかり、後日リピートする際に参考になると思いました。

交流イベントの中では、コンサートが一番興味を覚えます。都合の付く限り出向き、スペインの生の音楽と体感したいと考えております。

では、いつの日かスペインに下り立つ日を夢見て！永田桂子

・昨日のスペイン大使館でのイベントは、わざわざ岡山から参加した甲斐ある素晴らしいものでした。すでに、みなさまがお書きになっていらっしゃる感想と重なる部分も多いのですが、慶長大地震後の支倉使節団の派遣と、そして、東日本大震災後のこの400周年交流事業の不思議な廻り合わせに歴史の深さと、スペインと日本の縁を感じました。震災後、福島を訪ねた私としては、福島県立美術館で10月4日から開催されるホセ・マリア・シシリアさんの「福島・冬の花」にとっても興味があります。関西でも、400周年を記念するフェアが開かれるとのことで、ぜひ、参加してみようと思います。心から感謝いたしております。中田昌子

本日もまたまた楽しい会ありがとうございました。

お忙しい所丁寧におもてなししていただきました。

確かにフラメンコ、パエリア、サッカーのスペインは過日のオリンピック招致委員会の時のサマランテジュニアのふざけた感じを彷彿いたしますが、400年も前に支倉常長が派遣された国スペインはとても素敵なお国で、本日のお話もそれにそって感慨深くますます好きになりました。

イスラム教とキリスト教、カタルーニャ地方の独立問題と大きな歴史に翻弄されているこの国にハポンさんがいるということはとても感動致します。スパニッシュコロニアルの公館、中がとても素敵と伺っていましたが本日は残念でしたね。2004年に建てられた事務棟といい。経済危機が

ささやかれていますが、まだまだ中欧諸国に比べると大国ですね。
お料理もおいしく、今度は家族でスペイン倶楽部に伺います。

本日はお世話様でございました。

また素敵な企画宜しく願いいたします。 小島千春

・昨日は、スペイン大使館でイベントに参加することができ、本当に楽しい時間をありがとうございました。プレゼンテーションに先だって上映されたスペインの紹介ビデオは、観光・美術・食・スポーツ等様々な切り口から美しい映像で紹介されており、今すぐにでもスペインを再訪したくなりました。20年近く前に宿泊した、レオンやアルハンブラのパラドールの様子などが出てきて、懐かしさでいっぱいになりました。また、たぶんサンチャゴ・デ・コンポステーラへの巡礼の道だと思いますが、トレッキングをしている様子もあり、ぜひ一度、歩いてみたいなあと思いました。大使公邸、丁寧にご説明いただきました。スペインテイストのコロニアル調の建物は、歴史を感じさせるスタイルで、また隣に建つレセプションが行われた最新のモダンな建物と隣りあって、不思議なマッチングでした。在日スペイン大使館の歴史などもお話いただき、大使館の方々が日本とスペインとの関わりを大切に思っていることを感じました。「フラメンコ・パエリア以外のスペインも知ってもらいたい」と繰り返しおっしゃっていましたが、様々な文化事業、特に近現代のアーティストの展覧会が企画されていることはとても興味深いです。特に、西洋美術館で10月3日から開催される「スペイン・アンフォルメル絵画」の展覧会は、フランコ政権下と国外ででてしまったアーティストの対比とのことで、大変興味をもらいました。ぜひ足を運びたいです。

お食事とワインは、大変満足でした。一口サイズの、沢山の種類のお料理をすこしずついただいたので、あらためてケータリングをしてくださったお店でゆっくり頂きたいと思いました。

400年も前に、世界を覇していたスペインを帆船で目指した武士たちと、また地球の反対側から訪ねてきた日本人を迎えてくれたスペインの方々との交流に思いをはせた1日となりました。8月に私が宮城の被災地を訪問した際、案内をしてくださったタクシーの運転手さんから「先日、ロエベ（スペインの、世界的な革製品のブランド）の社長さんが、石巻市に復元・係留されているサン・ファン・パウティスタ号を視察にこられ、”400年の佳節にあたり、震災への復興支援も兼ねて何か会社としても支援できないか”とおっしゃっていらした」とのお話を聞き、スペイン人の方々とは長年に渡る関係の深さを感じました。沢山の400年記念のイベントの準備、スペイン首相の来日準備等、ご多忙なところ、お時間・お力を割いてくださり、本当に感謝申し上げます。 清原真里

・スペインというと、先日のオリンピック開催地を巡ってのマドリードと東京の決選なども思い出されました。スペインとの交流が始まって400年という事実も初めて知ったことでしたし、東北の地と深いかかわりがあったことにも感銘を受けました。スペインへ2年ほど前に旅した折に、現地の日本人ガイドさんから、スペインは経済的にも大変な時なのに、自国のことも顧みず、被災した日本へ多額の寄付をしてくださったという話を伺ったことを思い出しました。拝見したビデオもとてもよくまとまっていて、視覚的にも、興味深いものでした。私もスペインをまた訪れたいと思いました。大使公邸の建築様式がとても素敵で、できれば中も拝見したかったです。ビュッフェは、どれもとてもおいしくいただきました。ただ、スイーツ好きの私としては、デザートがなかったのが残念でした。ワインは少なめでもデザートがあればもっとよかったです。これを機会にますますスペインに興味を持ち、いろいろなイベントに参加したいと思いました。 山口ゆりか

・旅行作家協会に所属しております、ライター竹村和花です。
昨日、スペイン大使館で開催されましたワイン&ダインの日西交流400周年のパーティーに参加させて頂きました。
プレゼンテーションを含め、非常に意味深く内容の濃い時間を皆さまと一緒に過ごさせて頂きましたことをこの場をおかりいたしまして、お礼申し上げたいと存じます。
私にとってスペインとイタリアは全ヨーロッパの文化母体として最も興味深く感じている国でした。今回、日スペイン交流400周年の記念事業について御紹介頂きました内容は魅力的で、刺激的で。特にソフィア美術館のダリの作品に心酔している私にとりましてはぜひ近い将来 スペインの人々の熱い鼓動が沸き立つような本を書きたい!と思うような内容でした。

本当に素晴らしい時間を過ごさせて頂きましたことに心から感謝御申し上げます。竹村和花 (JTWO)

・初めまして、宮下紀子と申します。以前に一度、渡辺先生経由ウズベキスタン共和国の記事を発信させて頂いた者です。
先ず、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、日本スペイン交流400周年記念切手が10月1日に発売されます。

http://www.post.japanpost.jp/kitte_hagaki/stamp/tokusyuu/2013/h251001_t.html

中々趣きのある素敵なシートです。ご興味おありの方は、是非どうぞ～さて昨日は、私にとりまして日本における外国公館への初訪問となりましたが、あまりのセキュリティの緩さに驚きました!

現在におきましては、およそ日本人がスペインに亡命を求めることはあり得ませんので、それは当然のことなのかもしれません。

これまではロシア・東欧に常駐する西側大使館しか知らなかったため、怖い守衛も居なければ「近寄るなオーラ」もなく、実に快適な歓迎をして頂いたことが人一倍嬉しく感じられました。

そして大使館内が想像以上にシンプルモダンな詭えて、こちらにも意外でありました。廊下やイベント会場などに、もっとスペインをPRするものが多く存在するような感があったからです。

実際には地下への階段の踊り場に斬新な絵画が掲げられてありまして、抽象的ながらもスペインの情熱さが溢れておりました。

さらりと、廊下に飾ってありました”手足の長いリアドロの人形”が、妙に心に残ります。

时期的に非常に多忙である中、先方はよく笑顔でおもてなしをして下さいました。ビデオ上映の際に文化担当次官の方が「サングリア、パエリア・・・」と、スペインはそれらばかりでは無いことを強調されておりましたが、肝心のお食事では、特にそのサングリアとパエリアの美味しかったこと!! 皆様との歓談も時間を忘れる程でして、まるで本場のバルにいるような気分になさせて頂きました。

思えばつい先日まで、マドリッドは東京と2020年オリンピック候補地で争った仲・・・国内経済が決して順調ではないスペインが、日本において交流400年を祝してイベント開催を予定されていることを一般にはどの程度理解されていることでしょうか？

今回の貴重な大使館訪問を機に、周囲にこの友好親善を語り広めることこそ、今の自分のミッションであるように存じます。

来月初旬からの「スペイン・アンフォルメル絵画展」には、南欧好きな友人と足を運ぶ予定でおります。

素晴らしい機会に深く感謝申し上げます。宮下紀子

・とても楽しいパーティでした。初めての大使館訪問でした。六本木の喧騒な街中で静かなたたずまいの建物に驚きました。コロニアル様式の公邸とカエデヤツバキなどの大きな木の和の感じの庭がすてきでした。お料理がとてもおいしくパエリアは今までいただいたなかで最高でした。エビもムール貝もおいしく特に小さな小さな蛸が何匹もまるごと入っていてびっくりしながらおいしくいただきました。ワインも堪能いたしました。

領事官の方がわたくしのつたない英語にていねいに優しく接して下さってとてもうれしかったです。ふつうの家庭でもあのような大きさのパエリア鍋を持っているそうです。もしわたしがスペインの主婦だったらと想像して

しまいました。スペイン旅行での印象に残ったことをお話ししたらさらにくわしく説明してくださり感動しました。興奮しながら帰宅いたしました。

すてきな機会を与えてくださってほんとうにありがとうございました。

伊藤由紀子

・日本がスペインとの交流が始まって400年という事実を改めて認識し、今年、現代芸術、音楽、絵画、テクノロジー、歴史に関連する展示会や催しがあると伺い、非常に興味を持ちました。会の始めで見せていただいたビデオも、スペイン各地の映像や、文化、食事の紹介がそれぞれ短くまとめられ、ビデオ作成のセンスもよく、感動しました。スペイン現地で作成されたそうです。スペインにまた行ってみたいになりました。旅っこさんも書かれている通り、今から400年前1613年に支倉常長がスペイン訪問する前に日本では1611年にマグニチュード8以上の地震があったというお話をされ、『今回の東関東震災と同じ状況が起こっていた、これは奇遇だが、交流400周年を機会に、被災地を慰問する意味で東北でのイベントが多い』とおっしゃっていて心に響きました。ビュッフェは、少しずついろいろなお料理をいただき、どれもおいしく、白、赤ワインを好きなだけいただけ、大満足でした。せっかくのお料理、それぞれの名前があると、次回レストランで注文するときに役立つと思いました。私はシャングリラがあることに気付かず残念でした。皆様とのおしゃべりも楽しく、そして大使館の方もテーブルを回って下さり、お話に加わってくださり、お忙しいお時間の合間とぬってのおもてなし、感謝でした。今回参加されなかった皆さんも、いろいろな行事が秋に催されるようなので、是非お時間のあるときいらして下さい。私もほかの催しに是非参加してみたいと思いました。山口知子

・先日のスペイン大使館でのwine & dineに参加させていただき本当にありがとうございました。初秋の午後、貴重な、そして素晴らしい時を過ごさせていただきました。

国と国とのおつきあいは、世界レベルの、究極なご近所付き合いだと私は思っています。案内役のファビル氏をはじめ、参事官の方、領事の方、レストランのスタッフの方々、皆さんがとても親しみのこもった笑顔で迎えてくださったことが、とてもうれしく心に残っています。

スペインと日本の交流が400周年を今年迎え、そのメモリアルをとても大切に思ってください、様々な行事を企画されていることを伺い、感謝の念と心温かいものを感じました。私もぜひ西洋美術館での絵画展などに足を運びたいとおもっています。

スペインといえば、ガウディの建築、フラメンコ、サングリア、パエリア、闘牛、陽気な人々と枚挙にいとまはありませんが、あのスペイン大使館の事

務棟のモダンな建物からもうかがえるように、近年は又、伝統文化を大切にしながら新しいスペインに生まれ変わろうとしているのかなという気がしました。

料理の数々そしてワイン、__私はワインが大好きです__はもらろんとても美味しく、堪能いたしました。日本人の口にとってもあうと感じました。そして大使館のかたも変えた楽しいおしゃべり、ファビル氏は気さくに一緒に写真にもおさまってくださいました。

皆さまの感想にすでにわたしが言いたいことのすべてが書かれていました。同じ感想、気持ちらを分から含えたこと、これも収穫の一つとなりました。

この企画を計画し実行してくださった渡辺様には本当に感謝いたします。色々な才能を持った方々と出会えたこともうれしく感じました。村松美弥子

・私は30カ国以上海外を旅しましたが、スペインはその中でもとても印象に残っている国です。サグラダ・ファミリアはもらろん、プラド美術館やガウディのバトリョ邸など、今でもすぐに目に浮かびます。

余談ですが、このプラド美術館から、私のベラスケスのマルゲリータ王女（の肖像画）を探す旅が始まりました。

今回はそんな大好きなスペインの大使館に入らせていただけるということで、期待に胸を膨らませて参加しました。

コンベンションセンターで文化や歴史、400周年にかける思いを伺い更にスペインをよく知りたいという思いを強く持ちました。

日本スペイン交流400周年行事が目白押し、また、2週間もしないうちに首相が来日される、しかしスタッフは（記憶が正しければ）6名だけと伺い、そのような超多忙な状況の中でも、快く笑顔で受け入れてくださったスペイン大使館の皆さまの心の広さと温かさ感謝の気持ちでいっぱいです。お食事ですが、とても美味しく、そして楽しくいただくことが出来ました。

スペイン大使館の方の笑顔と節子さんの細やかな気配りで美味しい食事がより一層美味しくなり、とても楽しいひとときでした。お店は会社から徒歩でいけますので、今後使わせていただこうと思っております。

最後になりますが、このような素晴らしい会を企画してくださった節子様また、本当にお忙しい中、笑顔で受け入れてくださったスペイン大使館の皆さまに心よりお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。KA

・昨日は、ありがとうございました。
スペインの印象（パエリア、太陽の国）が変わりました。
文化芸術を大切にしている、東日本大震災と日本との関係など、興味深かったです。スペインに興味を持ちました。
これからもっと歴史、日本との関係を勉強します。
お料理、大使館の方々のおもてなしは、すばらしい！

参加メンバーのバイタリティー、好奇心、知性、どれも感動しました。
また、参加したいです。KH

・スペイン大使館見学は楽しい一日でした。
全体にスペインの雰囲気が何となく感じられ、案内
後久しぶりに味わったスペイン料理もワインも申し分なく
「うまかった」の一言です。参加された人達とも
気楽に話し合いができ楽しかったです。

この企画、運営された渡辺様にこころより御礼申し上げます。

保倉 進
スミ子